

試合番号 : 191		試合会場 : 一宮市総合体育館				観客数 : 2,100						
開始時間 : 14:00		終了時間 : 16:05		試合時間 : 02:05		主審 : 小野 将人 副審 : 中山 健						
ウルブドッグス名古屋		通算	7勝 ポイント : 22	12敗	25	第1セット	21	サントリーサンバーズ		通算	14勝 ポイント : 43	5敗
監督コメント	まずは我々のホームゲームに来ていただいた皆さんに感謝申し上げます。		1	25	第1セット	21	3	監督コメント	3レグスタートのゲームで、自チームの良さが相手勢いで1セット目を失ったが、2セット目以降はサーブに集中し、自チームのコンビ精度も上がった。相手のコンビ、粘りのあるプレーは本当に素晴らしいと思う。来週に向けてしっかりと準備したいと思います。本日応援ありがとうございました。本年もよろしくお願いします。			
	今日は非常にタフな試合でした。この様な状況下でチームの力を成長させなければなりません。来週に向けてやるべき事はわかっているの、しっかりと準備をしていきます。											
	これからもウルブドッグス名古屋の応援をよろしくお願いします。											
サントリーサンバーズがウルブドッグス名古屋を抑え、今季の対戦成績を3勝0敗とし強さを見せた。		第1セット、WD名古屋は、現在得点ランキング1位のムセルスキーのスパイクに対し、ブロックタッチをとるなど粘り強い守備を見せた。さらに、椿山、高梨が両サイドから攻撃を決め、16-10とサントリーを押し寄せ、そのままの流れでこのセットを先取した。		第2セット、序盤は両チームが得点を奪い合う接戦であったが、サントリー・鶴田が粘り強くボールをつなぎ、ムセルスキーが連続でバックアタックを決め、12-9と点差をつけ流れに乗った。さらに終盤には5連続ブレイクを取り、サントリーがこのセットを取り返した。		第3セット、中盤に小野のブロックでWD名古屋の攻撃を封じ、ムセルスキーの強烈なスパイクでサントリーが点差を広げた。さらに終盤、リリーフサーバーとしてコートに立った佐藤がWD名古屋のレシーブを崩し、皇谷、藤中がブロックを決め、4連続得点を奪うなど、このセットを連取した。		第4セット、序盤から山田のスパイクで9-6とリードしていたWD名古屋であったが、大宅のサービスエースでサントリーが逆転する。その後接戦が続くが、このセットもサントリー・佐藤がリリーフサーバーとしてサービスエースを決め、WD名古屋のレシーブを崩し、点差を広げた。苦しい状況のWD名古屋は、メンバーチェンジでコートに立った劉が、クイックやブロックで得点を決めるなど同点に追いつく。その後、デュースにもつれこんだが、大宅のブロックでサントリーがゲームを制した。				
要約レポート												
試合番号 : 192		試合会場 : ジェイテクトアリーナ奈良(奈良県立橿原公苑第1体育館)				観客数 : 1,210						
開始時間 : 12:00		終了時間 : 14:05		試合時間 : 02:05		主審 : 西中野 健 副審 : 城 智人						
東レアローズ		通算	8勝 ポイント : 27	11敗	15	第1セット	25	FC東京		通算	4勝 ポイント : 10	15敗
監督コメント	今日から3レグが始まり良いスタートを切ったが残りながらフルセットで負けてしまいました。		2	15	第1セット	25	3	監督コメント	今日非常に厳しい戦いでしたが、チーム、選手のメンタリティが常にアグレッシブに戦っていた。厳しい場面は何度もあったが、それをしっかりと乗り越えてくれた。			
	FC東京のサイド陣を抑えきれなかったことが敗因の1つだと思います。ただこの試合を通して、チームの熱を出し切れなかったことが負けた以上に悔しいです。											
	明日も試合がありますので、しっかりと準備していきたいと思えます。本日たくさんの応援ありがとうございました。											
第1セット、FC東京は迫田、プレモビッチのスパイクで得点を重ねセットを先取る。		第2セット、FC東京は第1セットの良い流れのまま攻撃を続けるが、東レアローズはセッターを藤井に替えると流れが変わり、高橋のアタックや、李のブロックが決まりこのセットを取る。		第3セット、序盤東レはルジェのサーブにより3連続得点し、リードを奪う。勢いづいた東レは星野、富田を中心に得点を重ねセットを連取する。		第4セット、中盤まで互角の試合展開になる。東レはルジェのスパイクで得点するも、FC東京は迫田を筆頭に佐藤、プレモビッチが躍動し、セットを奪い返す。		第5セット、FC東京は粘りのレシーブやプレモビッチのブロックにより試合の流れをつかむ。その勢いそのままセットを奪い、FC東京がフルセットを制して3レグの初戦で大きな勝利をつかんだ。				
要約レポート												
試合番号 : 193		試合会場 : ジェイテクトアリーナ奈良(奈良県立橿原公苑第1体育館)				観客数 : 1,953						
開始時間 : 15:00		終了時間 : 16:43		試合時間 : 01:43		主審 : 富田 博一 副審 : 森口 豊						
ジェイテクトSTINGS		通算	18勝 ポイント : 50	1敗	25	第1セット	22	VC長野トライデンツ		通算	2勝 ポイント : 6	17敗
監督コメント	スタートから壁が見られ、自分たちのペースを作ることができなかったが、途中から出場した選手がコート内の雰囲気を変え、いい展開をつくり出してくれました。		3	25	第1セット	22	1	監督コメント	本日は3レグ初戦で大変な試合でしたが1-3で負けてしまい残念です。チームメイトを信頼し、プレーし続けることができたのは良かったと思います。遠くから応援に来ていただいた皆様、本当にありがとうございます。気持ちを切り替えて明日の試合に臨みます。			
	明日もスティンズのバレーをお見せできるよう準備していますので、応援の程よろしくお願いします。											
第1セット、序盤ジェイテクトSTINGSが西田、カジースキの攻撃によりリードする。VC長野トライデンツのバトリックの高さのあるスパイクで追いつくが、ジェイテクト・西田が連続得点を挙げ、セットを先取る。		第2セット、序盤は点差が開かない展開となったが、VC長野が中盤から椿のブロックポイントにより流れをつかみ、その勢いそのままこのセットを取る。		第3セット、中盤まで競った展開になるが、ジェイテクトが西田の連続サービスエースにより有利にゲームを進める。VC長野も長田の多彩なトスワークで応戦するが、ジェイテクトはカジースキ、西田のスパイクポイントにより勢いづき、セットを取り返す。		第4セット、ジェイテクトは第3セットの勢いそのまま、西田やカジースキのスパイクでリードする。VC長野は森崎、池田のスパイクで応戦するが、ジェイテクトの勢いを止められず、今シーズン初のセカンドホームでの試合でジェイテクトが勝利した。						
要約レポート												
試合番号 : 194		試合会場 : 沖縄市体育館				観客数 : 1,880						
開始時間 : 12:00		終了時間 : 13:47		試合時間 : 01:47		主審 : 山本 晋五 副審 : 服部 篤史						
JTサンダーズ広島		通算	15勝 ポイント : 44	4敗	25	第1セット	17	大分三好ヴァイセアドラー		通算	2勝 ポイント : 8	17敗
監督コメント	非常に難しい試合だったが、最終的に3ポイントを獲得できたことは良かった。		3	25	第1セット	17	1	監督コメント	失ったセットは、自チームのミスが目立ち自ら流れを失っていたが、第2セットはサーブを起点に内容の良いバレーができたと思う。			
	シーズン初めでスタメンでプレーした3人も勝利に貢献したと思う。ファンの皆様、ご声援ありがとうございました。											
上位に踏みとどまりたいJTサンダーズ広島と、少しでも勝利を重ねたい大分三好ヴァイセアドラーの一戦。		第1セット序盤は一進一退が始まったが、ヤカン、バグナス、米田が奮闘する大分三好に対し、JT広島は陳、エドガー、武智、中島らがまんべんなくスパイクを決め徐々に突き放し、25-17でセットを奪った。		第2セット大分三好はプレーが繋がり、レシーブカバーから得点するなどファインプレーで雰囲気盛り上げ、25-22でセットを取った。		第3セット、第4セットはJT広島が連取。攻撃陣がまんべんなく活躍したJT広島に対し、大分三好は要所でのミスが目立った。						
要約レポート												

試合番号 : 195		試合会場 : 沖縄市体育館				観客数 : 2,314					
開始時間 : 15:00		終了時間 : 17:04		試合時間 : 02:04		主審 : 浅井 唯由		副審 : 原 啓之			
パナソニックパンサーズ		通算	17 勝	2 敗	25	第1セット	18	堺ブレイザーズ	通算	8 勝	11 敗
			ポイント : 50							ポイント : 25	
監督コメント	スタートは良い形でゲームに入ることができたが、第2セットは相手のサーブに苦しめられ、自チームのミスもあり良い流れを持っていくことができなかった。我慢の試合が続いている中、途中出場の大竹が良く頑張ってくれ、良いリズムを取り戻すことができた。明日もしっかり集中し、勝利でホームゲームを終えたい。本当にたくさんのご声援ありがとうございました。明日もよろしくお願いいたします。				3	22	第2セット	25	1	すべてのセットにおいて連続失点をしてしまい、安定したバレーができなかった。いいゲームプランで臨むことができ、チャンスもあったが、それを活かすことができていなかった。沖縄まで応援に来てくれたファンの皆様ありがとうございました。明日も熱い応援よろしくお願いします。	
						25	第3セット	20			
						25	第4セット	20			
							第5セット				
要約レポート											
第1セット序盤、パナソニックパンサーズは清水のスパイクや深津のブロックなどで9-5とリードを奪う。堺ブレイザーズは千々木の活躍などで追い上げを見せるが、パナソニックはクビアクの連続スパイクをきっかけにリズムをつくり、山内のブロックや久原のスパイクなどでセットを奪った。第2セット、堺は樋口を中心とした攻撃や関田のブロックなどで12-8とリードを奪う。中盤、パナソニックは白澤、山内のミドルブロッカーの活躍などで追い上げを見せるが、堺は樋口のスパイクや出来田の活躍で24-19とする。ここからパナソニックは久原やクビアクの活躍で追い上げを見せたが、最後はミスが出て堺がセットを取り返した。第3セットは両チーム譲らず接戦となる。18-17とパナソニックが1点リードしたところから、クビアクが自らのディグから連続でバックアタックを決めるとリズムをつかみ、最後はクビアクの連続ブロックでパナソニックがセットを奪った。第4セット序盤、パナソニックはクビアクの効果的なサーブから大竹のブロックや久原のスパイクで12-6と大きくリードし、追い上げを試みる堺を振り切った。											

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :					
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :			
		通算	- 勝	- 敗	第1セット			通算	- 勝	- 敗	
			ポイント :						ポイント :		
監督コメント						第2セット					
						第3セット					
						第4セット					
						第5セット					
要約レポート											

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :					
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :			
		通算	- 勝	- 敗	第1セット			通算	- 勝	- 敗	
			ポイント :						ポイント :		
監督コメント						第2セット					
						第3セット					
						第4セット					
						第5セット					
要約レポート											

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :					
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :			
		通算	- 勝	- 敗	第1セット			通算	- 勝	- 敗	
			ポイント :						ポイント :		
監督コメント						第2セット					
						第3セット					
						第4セット					
						第5セット					
要約レポート											